

# 大杉

尾呂志学園便り 第16号

平成25年3月25日

TEL 小 4-1015

中 4-1012

携帯QRコード



朝夕はまだ少し肌寒さを感じる日もありますが、日中はグラウンドを通り過ぎる風もあたたかく、おだやかな春の訪れを感じます。校庭の桜の花も、4月の入学式を待ちきれずに次から次へと咲き始めました。

尾呂志学園では、小学校3名、中学校4名の卒業生を送り出し、新たに入学生を迎える準備を始めているところです。

この1年間、様々な面で尾呂志学園をご支援、ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

来年度も変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

## 3月17日(日)、卒業証書授与式挙行

3月17日(日)、尾呂志学園小・中合同の卒業証書授与式を、たかちらホールで行いました。大勢の来賓の方々や保護者、地域の皆様に見守られる中、厳粛な中にも温かな門出の式となりました。

卒業生の皆さんは、尾呂志学園で過ごした年月の様々な思い出を胸に、卒業証書を受け取ったことでしょう。

「さくら」の合唱を聴きながら映し出された「思い出の映像」に、子どもたちの成長を思い出され、涙された方もおられたことでしょう。

卒業生の皆さん、4月からそれぞれが進む道で、それぞれの目標に向かって、精一杯羽ばたいてくださいね。



## 4月の主な行事予定

月	日	曜	全 校	小学校	中学校	地域
4	1	月	辞令交付 職員会議			
	8	月	始業式・着任式			
	9	火	入学式 PTA役員会			
	10	水	給食開始			
	11	木	街頭指導			手芸サークル
	12	金				秋葉神社もちほり
	15	月		牛乳飲用開始		
	18	木				手芸サークル
	23	火	読み聞かせ	春の遠足		
	24	水		全国学力・学習状況 調査	全国学力・学習状 況調査	
	25	木				手芸サークル
29	月	昭和の日				
備考	4月の学校開放日は、後日お知らせします。 5月1日(水)に全校田植えを予定しています。					

## 新年度の始業式は、4月8日(月)

平成25年度の始業式は、4月8日(月)です。平常どおり8時20分までに登校させてください。児童・生徒の皆さんは、今年度在籍した教室に入り、読書タイムをスタートさせてください。

## 入学式は、4月9日(火)に挙行します。

来年度の入学式は、4月9日(火)午前10時から、たかちらホールにて挙行いたします。どなたでも参加できますので、できる限り多くの方々にお集まりいただき、新入生の入学を祝っていただきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

★★小学校1年生入学予定児童・・・4名★★

★★中学校1年生入学予定生徒・・・1名★★



# 学校関係者評価を実施していただきました。

## ～議論は「学校存続」について～

3月12日（火）19時より、第4回学校運営協議会を開催しました。その中で本年度の教育活動や学校運営について、保護者の皆さんや児童・生徒を対象に行ったアンケートの結果や、学校自己評価をもとに、委員の皆さんに学校関係者評価を実施していただきました。

まず、教育活動については、少人数を生かしたきめ細かな指導や、小中連携教育による複式授業の解消、小中合同の校内研修や授業研究などの教職員研修の活性化により、子どもたちの学力が向上していることについては、昨年度に引き続き、委員の皆さんから高い評価をいただきました。また、子どもたちと地域の方との関わり方についても、人材バンクの取組や、新たに多くの地域の方々に講師として足を運んでいただく機会を作ることができたことについても良い評価をいただきました。

このように今年度の学校関係者評価については、「学校が取り組んでいる教育活動は良好であり、自己評価についても概ね適切である」という評価をいただくことができたかと捉えています。その一方、会議の中で一番時間を費やして議論が行われたのは、「学校存続問題」についてです。

これまでの尾呂志学園の大きな課題のひとつに、「十分な教職員定数の確保」がありました。教職員の定数は、児童や生徒数によって定められていますが、本年度は、学校運営協議会の取組等により、県費の加配教員もいただくことができ、中学校の主要5教科の担当を揃えることができていました。ただ今後、中学校で欠学年（生徒が1人もいない学年）が出るような状況になると、極端に教員の定数が減る（教員数は2名になります）ことになり、これまで行ってきた尾呂志学園の特色であるきめ細かな教育の実践が非常に難しくなることが危惧されます。

会議では、空き家対策や定住化促進、学校を拠点とする公民館活動の活性化、新たなツールによる学校のPR、町や町教委との連携等にも議論が及び、「学校存続問題」を地域全体の課題として捉えた議論が活発に行われました。学校だけの課題にとどまらない、尾呂志全体を視野に入れた委員の皆さんの意見に、まさに尾呂志学園の課題は、尾呂志地域全体の問題と直接結びついていることを改めて実感しました。児童生徒数が減少していく中、今後も学校にとって厳しい状況が続きますが、学校はこれまで進めてきた教育活動をさらに推進していきます。尾呂志の子どもたちを尾呂志の学校で育てていくため、今後とも保護者や地域の皆様からのご支援・ご協力をお願いいたします。

# 小中合同「卒業生を送る会」を開催

昨年度から、小中合同で実施するようになった「卒業生を送る会」を、卒業式も迫った3月14日（木）に開催しました。

中学校の生徒会役員が中心になって企画・運営をしてくださいました。当日は、小学校1年生から中学校3年生まで、縦割りグループで班を編制し、「人間風車」「缶つみ」「ビー玉落とし」「陣取り」…と、みんなでできるゲームをいくつもを行い、楽しいひとときを過ごすことができました。卒業生にとっても、在校生にとっても、共通のいい思い出になったことでしょうか。生徒会役員の皆さん、ご苦労様でした。



## 保育園児との楽しいひととき

中学3年生の家庭科に「幼児と遊ぶ」という単元があり、尾呂志保育所で保育体験をしてきました。保育園児からお歌の歓迎を受け、続いて中学3年生が歌に

合わせた手遊びや紙芝居をし、また持参したおもちゃを使って園児と一緒に遊びました。おもちゃは事前に手作りしました。「くまさんのぬいぐるみ」「糸電話」「ペットボトルで作った車」「どんぐりごま」「マラカス風の楽器」。どのおもちゃも園児たちは楽しく使い遊んでくれました。

普段なかなか触れ合うことの少ない園児たちに、「優しく接することを心がけよう」と意気込んで訪問しましたが、人見知りの園児やなかなか泣きやんでくれない園児にどう接していいのか分からない場面もありました。保育士さんの接し方を見て、「やっぱりすごいな。」と改めて感じる人もいました。

1時間の保育体験でしたが、保育園児みんなと楽しい時間を過ごすことができました。

